

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		戸籍事務事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	市民部	課長名 緒田 恵子
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	市民課	担当者名 中嶋 民智
	基本事業	86	市民サービスの向上			所属班	市民窓口班	(内線) 1112
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	12
	1	2	3	1	11091		コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S22 年度)		期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	戸籍法により市町村が管掌し、地方自治法により法定受託事務とされた事業で、氏名や出生の年月日等を記載した戸籍簿を編製し、本籍地として身分事項についての管理を行う。 戸籍法に基づく国の機関委託事業として明治5年より実施、平成12年より法定受託事務となる。 ・合志庁舎・西合志庁舎・泉ヶ丘支所・須屋支所の4箇所において届出・発行業務を行っている。
【業務の流れ】	①受付(戸籍届)②内容審査③戸籍記載④関係課、市区町村、法務局への連絡、通知等⑤戸籍証明等の発行
【主な予算費目】	②需用費(消耗品費・印刷製本費)③役務費
【意見や要望】	・休日の開庁の要望
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
戸籍届の審査・記載、戸籍関係証明書の発行、関係市町村等への通知を適正に処理した。	21年度に同じ
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
⇒ ア 戸籍登録者(戸)数 人	イ 証明書等発行件数 件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
本籍が合志市にある人・戸籍届出をした人	⇒ ア 戸籍登録者(戸)数 人
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
戸籍簿等に関する事務について、適正且つ迅速に対応を受ける	⇒ ア 窓口サービス等の苦情件数 件
	⇒ イ 窓口アンケート結果の総合評価点数 点数
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 戸籍簿等に関する事務について、適正且つ迅速に対応を受けるため	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 人	39676	40379	40,379	40942	40942	40942	40942	
	イ 件	9709	10898	10,898	10480	10898	10898	10898	
⑤ 対象指標	ア 人	39676	40379	40,379	40942	40942	40942	40942	
	イ								
⑥ 成果指標	ア 件	6	2	1	2	1	0	0	
	イ 点数	4.22	4.21	4	4.3	4.4	5	5	
投資 入 量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	516	325	506	427	618	618	
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
	(A) 事業費計	千円	516	325	506	427	618	618	618
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	25	23	23	22	22	22	22
	延べ業務時間	時間	16,200	7,730	16,200	6,709	6,709	6,709	6,709
	(B)人件費計	千円	64,314	30,920	64,476	26,702	26,702	26,702	26,702
トータルコスト(A)+(B)		千円	64,830	31,245	64,982	27,129	27,320	27,320	27,320

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	戸籍事務事業	所属部	市民部	所属課	市民課
-------	--------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ ・届出に基づき、正確に登録、管理が行われている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ ・法的事務を実施する為の経費であり、現在最小限の経費で実施しており、節減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ ・利用者に対して、平等に公平・公正な対応を行っている。 ・証明手数料は手数料条例に基づいており、適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ ・戸籍法の事務は個人公証に厳格であるため、他への移行はできない。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・法令に基づき適正に事務を行った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

--